

1 単元名 もっとなかよしまちたんけん

【何ができるようになるか】(単元の目標)

「自分を高める」

- ・校区探検で詳しく知ったことを進んで発表することができる。(自分を発揮する力)
- ・自分で決めた場所に探検に行き、知りたいことを積極的に調べることができる。(やり抜く力)

「人とよりよく関わる」

- ・校区探検を通して自分たちの生活は、校区の様々な人や場所と関わっていることや校区の人々が校区に寄せる思いに気づき、感謝の気持ちを言葉や態度で表す。(他者意識)

2 指導の構想

【何を学ぶか】(教材の価値)

本単元は、校区探検に行き地域で生活したり働いたりしている人と接することを通して、地域の場所や人が自分たちの生活とつながっていることを考え、それらに親しみや愛着、感謝の心を持ち、適切に接しようとするものである。

本校区には、田園風景が広がる地域に、交番、個人経営の店舗、お寺や神社などで生活したり働いたりしている人がいる。それらの人々は、共通して地域の人に「安全に暮らしてほしい」という願いをもっていて、これら地域の人々と接することで地域の人や場所に親しみや愛着をもつことができる。これらを学ぶことは、積極的に調べようとする主体性や相手のよさを感じ取る他者意識を喚起することができ、大変意義深い。

【実施するためには何が必要か】(人・もの)

- ・校区探検場所(郵便局、山田交番、清谷寺けやきの森幼稚園、かじか保育園等)
- ・保護者との連携
- ・地域学校協働本部との連携

【道徳との関連】

C-(15) 国や郷土を愛する心
「ぼくのまちも、ひかっている！」

【どのようにして学ぶか】単元計画(14時間)

(1) 目標を持つ(2時間)

まず、校区の人や場所と関わりたいという思いをもち、探検に行きたい場所や話したい人、聞きたいことなどを決め、探検の計画を立てる。

(2) 実践する(10時間)【本時含む】

次に、地域に探検に出かけ、自分のこれまでの経験と関連付けながら、地域で生活している人や働いている人へインタビュー活動や見学をする。校区探検で見つけたことや分かったことを交流する中で、地域のよさや地域の人々が地域に寄せる思いの中から共通点を探る。さらに、友だちと交流しながら、地域には、自分たちの暮らしを豊かにしてくれる人々がいることに気づき、自分たちが地域にできることは何かを考える。

(3) 振り返る(2時間)

最後に、校区探検を振り返り、自分たちの生活との関わりを見つけ、自分たちの生活を支えてくれている校区の人々に感謝の気持ちを持ち、感謝の気持ちを表す活動や山田すてきマップの活動につなげる。

【児童の実態】

本学級の児童は、自然豊かな環境の中に暮らしており、日頃から虫取りや川遊びを楽しんでいる。また登下校の見守り隊や読み聞かせの会の地域の方々とは、挨拶を交わすことはできている。また、1学期も生活科「どきどきわくわくまちたんけん」で、自分の家の近くの好きな場所をそれぞれが紹介している。友だちの紹介を聞いて、校区の中でも知らない場所や行ったことのない場所もあり、実際に行ってみたいなという意欲をもっている。しかし実際に校区に出かけて、その場所で働いたり生活したりしている人々と関わりをもったり、思いを聞いたりする経験はまだない。また校区の人、物、場所のよさや自分たちの生活とのつながりに気づけていないことが分かった。

3 本時



(1) 目標

- 校区探検で分かったことを発表する活動を通して、地域で出会った人々の地域に寄せる思いから共通点を見だし、自分たちの暮らしを豊かにしてくれている人々がたくさんいることに気づくことができる。

(2) 準備

- ①タブレット端末 ②掲示物 ③学習プリント ④ホワイトボード ⑤付箋

(3) 展開

過程	学習活動・児童の反応	指導の手立て（○）と評価（◇）
導入 5分	<p>1 本時学習のめあてと活動への意欲をもつために、探検での様子を振り返ったり、発表の準備をしたりする。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">(めあて) たんけんをして見つけた山田の“すてき”をはっぴょうしよう。</p>	<p>○ 学習の流れや探検の様子を写した写真を掲示し、探検したことを振り返ることができるようにし、本時の学習のめあてをもたせる。</p>
展開 30分	<p>2 自分たちが探検に行った場所や出会った人、分かったことを発表する。</p> <p>〈山田交番グループ〉 山田交番の石橋さんです。こわいかなと思ったけど、笑顔でした。朝早くから横断歩道に立って、町の人々の安全を守ってくれていました。 (クイズ) 石橋さんが、毎朝していることは何でしょう。</p> <p>〈このこのぱんグループ〉 このこのぱんの石橋さんです。おいしく、安全なパンを作るために材料もこだわっているそうです。お客さんが喜んでくれるようにいろいろなパンを作っていました。 (クイズ) パンは、朝何時から焼いているのでしょうか？</p> <p>〈清谷寺グループ〉 清谷寺の住職の柴田さんです。1300年もの前から、山田に住む人の安全や健康を守ってくれています。月に1度、座禅会があります。 (クイズ) 一日に何回お祈りしているのでしょうか？</p> <p>3 それぞれのグループの発表から分かったことや気づいたことを話し合う。</p> <p>(1) 発表を聞いて、分かったことやすてきだなと思ったことをすてき付箋に書く。</p> <p>(2) 発表を聞いて、グループの発表で同じ所や似ているところを見つけ、交流する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">  <p>みんな、山田の人々のためにがんばっている。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">  <p>朝早くからしごとをしていてすごいな。</p> </div>	<p>○ グループごとに、写真や掲示物を貼ったりクイズ形式にしたりして、発表させる。</p> <p>○ 発表するときは、「出会った人」「探検した場所」「仕事の内容」の観点で発表させる。</p> <p>○ “すてき”を見つけることができるように、出会った人の思い、仕事のわざ、すごさ、自分たちとのつながりなどに注目させる。</p> <p>○ それぞれの発表では、同じところと似ているところを比較しやすいように掲示する。</p> <p>○ すてき付箋に（すてきだな、すごいな、やさしいな、すごいわざ）などの気づきや感じたことを書かせる。</p> <p>○ 地域の人たちは、自分たちの生活をより安全に豊かにしてくれていることに気づくことができるように、住んでいる人やお客さん、利用する人のために働いたり工夫したりしている共通点を話し合わせる。</p>
終末 10分	<p>4 次時の学習への意欲をもつために、本時学習を振り返る。</p> <p>(1) 学習プリントに今日の振り返りを書く。</p> <p>(2) 感謝の気持ちを伝えるために自分たちにできることを考え、発表する。</p>	<p>◇ 校区のよさや自分たちの生活とのつながりに気づき、感謝の気持ちをもつことができたか。〈学習プリント分析〉</p>